

平成30年度第2回神栖市行財政改革推進委員会 会議要旨

日 時	平成30年7月25日（水） 午後1時30分～午後3時30分
場 所	神栖市役所 3階 庁議室
案 件	（1）平成29年度神栖市改革チャレンジプラン取組状況について 【プラン担当課ヒアリング】
出席委員数	7名
傍聴者	0名
会議の要旨等	
<p>—委嘱状交付—</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 案件</p> <p>（1）平成29年度神栖市改革チャレンジプラン取組状況について</p> <p>①プラン12 市民の健康の保持・増進や疾病予防の取組（担当課：健康増進課）</p> <p>プラン内容について、担当課から説明後、質疑応答</p> <p>委員：確認です。事前に質問をさせていただいた回答の中で、外来医療費について、県内44市町村中、平成27年度は42位、平成28年度は43位、平成29年度は42位であったとのことですが、一方、疾病別に見ますと、外来医療費について、糖尿病であれば、平成29年度は8位、高血圧であれば12位、脳血管は5位となっています。疾病別に見ますと順位が高いけれども、全体で見れば低いと、このような見方でよろしいでしょうか。</p> <p>もう一点ですが、但し、入院医療費、外来医療費ともに、全体で見ても、平成27年度、28年度、29年度と金額も含めて上昇傾向にありますよね。その原因については、どうお考えですか。</p> <p>健康増進課：一点目ですが、疾病別にあげさせていただいた例では、県内で見ますと高いものになります。市内の方々の疾病傾向が出ているものと考えています。2点目ですが、入院、外来を併せた医療費で見ますと、平成26から29年度まで、41位、42位、42位、39位と金額も含めて上がってきております。金額等は、国全体で見ても、上昇傾向ではありますが、看過できないところという認識はしております。しかしながら、現状、具体的な原因の分析までには至っておりませんので、今後、細かく考えてまいります。</p> <p>委員：対策をするには、面も大事ですが、実際のは点からだと思しますので、そういった意味からしますと、疾病別のところで、これから、何をポイントに取り組んでいくのか、神栖市ではこういう部分では、良くなりましたという具体例を、まず、つく</p>	

って行ってほしいと思います。

委員：私も理想は、健康寿命を長くすることであると思っていますが、シルバーリハビリ体操がとても重要だと思っています。長く健康で生活して、人生を全うできればいいと思っています。そこで、シルバーリハビリ体操の神栖市の推進状況をお聞きしたいのですが、シルバーリハビリ体操の指導員の資格を取得するには、筋肉や体のことも全て知らないとならず、とても大変なんですよ。等級もありますしね。

健康増進課：3級までは市内で取得可能です。1級、2級は水戸市で講習を受講することになります。

委員：指導員の人数を増やすことが重要と思っています。高齢者向けに指導してくれます。どの体操が、どう活かされるかも教えてください。ぜひ、指導員を増やす努力をしてほしい。医療費減に直結しているどうかの判断は、中々、難しいところとは思いますが、結果、健康になっていけばよいのではないかなと思います。ご検討をお願いします。

健康増進課：健康寿命を延ばすことは、大変有意義だと思います。直接の担当は、地域包括支援課にはなりますが、指導員は増加傾向にあるとは聞いております。保健師よりそういった市民の方の活動が効果的な部分もありますので、今いただいた意見は伝達させていただきます。

会長：指導員を増加させ、疾病に対する相関関係なども提示していただくと、より効果的だと思いますので、ご検討ください。

委員：地区別の疾病傾向の把握、提示はぜひ取り組んでください。もう一点、社会福祉協議会との連携はどうなっているか教えてください。

健康増進課：社会福祉協議会では、福祉分野の色々な資格を持っていらっしゃる方がいます。支援については、行政ではできない部分もありますので、連携をとって、取り組んでおります。

②プラン16 市税等収納率の向上（担当課：納税課）

プラン内容について、担当課から説明後、質疑応答

委員：意見として、モノの見方、考え方ですが、私は、企業の営業の方にはよく言うんですが、100%達成を目標にするのではなく、100%を突破しろと言います。100%が壁なんだろうと思います。100%達成を目標にすると、例えば97%だったとき、3%惜しかったねとなっています。100%の突破を目標にすると、97%であれば、なぜ3%足りなかったのかの課題を考えることになります。基本的な考え方ですが、県平均ではなく、トップをめざすべきです。本当の課題の解決にはならないと思います。とは入っても、当然、段階があると思います。モノの見方としては、そういうところを目指すべきだと思います。これが1点目です。もう一点、分母の採り方は県内統一されていますでしょうか。

納税課：個人市県民税であれば、1月1日現在住民票の在る方は、確定申告をしていただく。それに対して課税をします。全国的に統一されております。

委員：高い目標を持つことによって、課題が見つかり、次に挑戦していくと思います。あまり壁をつくらず、取り組んでほしいと思っています。企業については特別徴収もありますが、当然100%でしょうか。

納税課：基本は100%であるべきと思いますが、実際はそうではありません。企業に対しても催告、督促などの処分もしております。

委員：あとは個人ですね。そこへの工夫をどうするか。私は、もっと目標を上げてはどうかと思います。

納税課：トップを目指すべきとのことですが、平成18年、緊急事態宣言を行い、平成22年にマスタープランを制定しました。この時は、順位として、43位、44位にいたわけです。そこから、平成27年には、車、土地などの差し押さえを行い、公売を掛けながら業務を進めて、順位として39位、収納率として92%と上がってきました。このとき、目標はどうしようかといった時に、県平均を目指すことをチャレンジプランに掲げました。段階的とのことでは、おっしゃるとおりです。99%、100%と今後、目指していければと考えております。

会長：様々な手法を講じながら、収納率向上を目指していただきたいと思います。

委員：滞納繰越部分をみると、対策はどうでしょうか。神栖市は低いのではと思います。

納税課：分納も進めております。今、相続放棄も問題になっています。なお、競売の件数を示すと、年々増加するようになっております。差し押さえ件数は、平成27年度が468件、平成28年度が368件、平成29年度が402件です。この内、公売件数は、平成27年度が11件、平成28年度が21件、平成29年度が13件になっています。

委員：見える化を図ってほしいと思います。課税課とも連携してお願いします。

会長：業務に活かして行ってください。

③プラン21 普通財産の有効活用（担当課：契約管財課）

プラン内容について、担当課から説明後、質疑応答

委員：平成29年度は17件実施されているとのことですか。これは筆数ですか。

契約管財課：筆数になります。売却時は合筆もしています。

委員：1,850筆ありますが、これは市有地ですか。

契約管財課：市有地のみです。

委員：3000㎡以上の土地もありますけれども、他市で太陽光発電などにも活用されていますが、ただ、これから土地はもう動かないと思います。違った方策に切り替えていく時代かなと思います。まだ持っている時代は終わったと思います。利活用を考えていく時代と思います。

委員：損して得するという考えもあると思います。更地に投資して、より価値のあるものにしていくというのはどうでしょうか。山林、雑種地はどうすべきかと色々あるかとは思いますが。何もせず、売れるというのうは、もうないのではないのでしょうか。ある程度、投資して、付加価値をつけるというのはどうでしょうか。

委員：鹿島用地管理センターと連携して処理するのは、どうでしょうか。以外と進む可能性はあるかもしれません。

会長：有効活用について意見がありました、どうですか。

契約管財課：現状では、要望等を考慮して、公売にかけています。調査も費用もかかりますので、今のところ、そういった土地を着手しています。柳川中央地内に宅地分譲地があります。64筆ありますが、昨年度から住宅メーカーにパンフレットを配布して、現在、結構な件数が進んでおります。民間の宅建業者からも、多少のアドバイスなどをいただきながら、進めております。

委員：不良資産しか残っていないのではないかと思います。

契約管財課：土地を売って得たものが収入、土地の測量、不法投棄などが経費になっています。単年度で見れば、収入の方が大きい年度もあります。

委員：売却する見込みはあるんですか。

契約管財課：今、売れ残っている状況です。

委員：他市では、資産価値より低くても、メリハリをつけて、売却をしていると聞いたことがあります。

委員：いずれにしても、違った方法を考えていかないといけないと思います。

契約管財課：人口減少で、長期的にみると、かなり困難だろうという認識はしております。

会長：意見・要望を活かして、民間活力等も、上手く活用して、進めていくことを期待します。

4 その他

5 閉会